

# 市政に対する一般質問



荒川洋子 議員

## 災害時にドローンの活用を

**問** 荒川議員 災害時にドローンを活用し、上空から情報収集、状況把握をすることは、効果的な手法である。民間企業と、災害時にドローンを活用して情報収集する協定を結んではいかがか。

**答** 市民生活部長 ドローンは、近年、活用の方が広がっており、災害時には、自律飛行可能な利点を活かし、人が簡単に立ち入ることのできない場所の調査に期待が寄せら



ドローン

れている。ドローンを活用し、災害状況の把握に努めることは、有効な手段の一つと考えられるので、ドローンを災害時に速やかに飛行できる技術を有する企業や、協定方法について、先進事例を調査し、利活用について、検討していく。

## 認知症初期集中支援チームの早期設置を

**問** 荒川議員 認知症は進行性の病気のため、重度化してからの相談は対応が難しく、初期の相談が早期予防につながる。早期診断・治療につなげるため、「認知症初期集中支援チーム」を早期に設置してはどうかか。

**答** 健康福祉部長 「認知症初期集中支援チーム」については、国の「認知症施策推進総合戦略」の中で、平成30年度から全ての市町村で設置することになっており、本市では、平成30年4月に地域包括支援センターに設置する予定である。

今後は、国が開催する認知症初期集中支援チーム員研修の受講や、関係者との検討会の開催など、設置に向けて、準備を進めていく。



藤田勝美 議員

## スクールバス利用対象児童の見直しを

**問** 藤田議員 今後スクールバスが運行される中村・山前地区の取組は。また、隣接世帯でスクールバスを利用できる児童と利用できない児童の対応について伺う。

**答** 教育次長 平成30年4月の統合に向けて準備を進めている山前地区・中村地区の小学校統合においても廃校となる学区の児童を対象にスクールバスを運行する準備を進めている。



スクールバス

スクールバスの運行は、学校までの距離が長いという理由ではなく、統合でこれまで通っていた学校に通えなくなってしまう学区を対象に運行してきたので、今回の統合でもその考え方に沿った運行を考えている。

## 学校現場における複雑化・困難化への対応は

**問** 藤田議員 学校現場で抱える課題が複雑化・多様化する中、学校に求められる役割が拡大し、学校や教員だけでは解決できない課題が多くなっている。本市の学校現場での複雑化・困難化への対応を伺う。

**答** 教育長 学校では、複雑かつ多様な課題に対応することが求められており、また、教員の多忙化も指摘されている。

これら教職員の負担軽減に向け、スクールカウンセラー等の配置について、県に要望するとともに、複数担任制のための非常勤講師の配置や学校図書館への専任司書の配置、校務支援システムの導入に向けた研究の推進など、学校現場における業務改善に努めている。



中村和彦 議員

### 待機児童問題の解消策は

**問** 中村議員 本市の待機児童数は、県内では那須塩原市に次いで多いが、その原因は何か。また、小山市が潜在保育士への支援策を行っているが、保育士の確保に向けた本市の考え方を伺う。

**答** 健康福祉部長 今年度当初の待機児童数は22人で、昨年度より13人増加した。この原因は、昨年度行った認定こども園の施設整備により、29人の定員増となったが、保育



を必要とする児童の数も113人増えていることなどによるものと思われる。

**答** 市長 待機児童を解消するためには、保育士の確保が重要であると考えており、来年度から新たな保育士確保策を実施すべく、具体的な施策の検討を行っている。

### Jアラート発動時に関する市民への啓発は

**問** 中村議員 弾道ミサイルの飛来を想定した避難訓練など、市民に再確認を促す取組が必要ではないか。また、教育現場における対応について伺う。

**答** 市民生活部長 啓発活動として、避難や自己防衛の方法を出席の際に説明するほか、広報誌等で周知するとともに、ホームページではトップページに掲載するよう修正する。また、毎年開催している防災避難訓練の中でもJアラート警報時の避難行動について啓発していく。

**答** 教育長 各学校での対応策を啓発しておくことは必要なことなので、各学校の実情に応じた対策がされるよう指導・助言していく。



櫛毛隆行 議員

### 消防団の成り手不足への対策を

**問** 櫛毛議員 市で、大規模災害が発生したときの消防団の位置づけについて伺う。また、消防団のなり手不足の対策として、各地で広がりを見せる「消防団応援の店」を実施してはどうか。さらに、自営業者の加入が減少し、昼間の火災出動に影響が出ているので、消防団経験者の協力体制を構築してはどうか。

**答** 市民生活部長 大規模災害時の消防団の任務としては、消防・水防や救助活動、避難誘導活動、行方不明者の捜索、災害応急対策などが位置づけられる。「消防団応援の店」及び消防団経験者の協力体制の構築については、今後、先進自治体の状況を調査し、検討していく。



消防操法大会

### 全国いちごサミットの内容等は

**問** 櫛毛議員 サミットはどれくらいの参加者数を見込んでおり、そのうち、宿泊者数はどれくらいで、その確保をどう考えているのか。また、準備委員会を構成する団体の役割分担はどのようになるのか。さらに、施策の一つであるいちご生産技術の向上について、その成果をサミットで発表してはどうか。

**答** 市長 参加者数や宿泊者数については、調査研究し、宿泊施設の確保についても検討していく。準備委員会の役割分担については、各団体と十分に連携を図り、準備を進める。また、サミットは、新しい研究・開発の成果を発表できる場となるよう、県と連絡調整を図っていく。



久保田武 議員

桜の名所における  
会場の整備を

**問** 久保田議員 行屋川や北真岡などの桜の名所について、来場者用駐車場の整備が必要だと思いが、いかがか。また、一万本桜まつりの会場である城山公園の園路整備について、どのように考えているのか。

**答** 建設部長 城山公園の園路整備については、桜まつり開催時期の降雨によるぬかるみの解消のため、今年度中に整備をしていきたい。

中心市街地リノベーション事業の  
実施は

**問** 久保田議員 真岡地区及び二宮地区における中心市街地リノベーション事業について、市長の考えを伺う。

**答** 市長 多くの地方都市では、人口減少や少子高齢化により、大型店舗の撤退や空き家、空き店舗が目立つなど、市街地の空洞化による地域活力の低下が危惧されている。それらへの対応として、本市では、中心市街地リノベーション事業の実現に向け、第11次市勢発展長期計画増補版を策定し、事業の整備方針及び手法の目標設定を行うこととしている。

今後講演会や説明会を開催し、景観アドバイザーやコンサルタントなどの提案を受けながら、整備方針及び手法を検討していく。



行屋川の桜

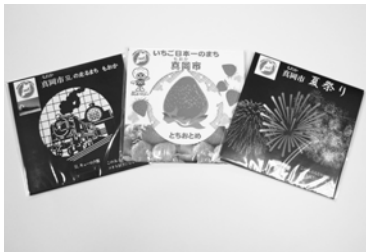


七海朱美 議員

障害者優先調達の推進を

**問** 七海議員 障害者就労支援施設等からの優先調達について、具体的な取組を伺う。

**答** 健康福祉部長 調達の内容は、平成28年度は、真岡井頭温泉のオリジナル手ぬぐい、ごみポイ捨て禁止啓発物品のあぶらとり紙作成作業等が主なものであった。今年度は、とちおとめ、真岡の夏まつり、SL、真岡木綿をパッケージデザインとしたあぶらとり紙1500個の



あぶらとり紙

作成等を発注した。さらに、市内の施設に提案し、今年6月から、市庁舎内で定期的なパンやお菓子の販売を行っている。

**答** 市長 100万円という優先調達の目標額はあるが、しっかりと障がい者の自立できる支援を行っていききたい。

児童生徒の  
平和記念式典への派遣を

**問** 七海議員 栃木県においては、今年、11の市町が生徒を広島・長崎の平和記念式典に派遣している。真岡市でも派遣してはどうかか。

**答** 市長 市内の小中学校では、戦争体験者の話を聞くことや戦争に関する本の読み聞かせなど、様々な場面で平和教育を行っており、今後も推進していく。

平和記念式典に児童生徒が参加することは大変意義のあることだが、全ての子どもに同じ平和教育を浸透させることが大切である。派遣については、現時点で考えていないが、教育活動の中で多くの児童生徒が平和教育を見聞できる機会について、修学旅行で行くことも含め、今後研究していく。